

## 第7次福島県総合教育計画策定に関する教育長メッセージ

このたび、令和4年度から12年度までの本県教育の基本方針となる第7次福島県総合教育計画を策定しました。

本計画の策定に当たっては、中高生を含む様々な県民の皆様から声を聞かせていただき、誠にありがとうございました。そのような県民の皆様の思いから出来上がった本計画を着実に実施していきたいと考えています。

(本計画の基本的な考え方)

本計画では、福島の良いところを大切にした「福島ならではの教育」、そして、一方通行の授業を、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへと変革していく「学びの変革」を掲げています。

現代社会はsociety5.0の到来や地球環境問題等将来を予測することが極めて困難な社会となっています。そして福島県は今後も東日本大震災からの復興・創生に向けて、廃炉、風評等の多様な課題を乗り越えていく必要があります。こうした中で、子どもたち一人一人の幸せと社会全体の幸せであるwell-beingを実現していくためには、社会の課題に主体的に向き合い、多様な他者と協働して解決に向かう力を育てていくことが不可欠です。

地域の皆様と連携しながら、福島県の地域課題そのものをテーマとした学びやICTを活用した学びを充実させ、子どもたちに必要な力をしっかりと育成してまいります。

(児童・生徒の皆さんへ)

皆さんの中には、福島で生まれ育った人も、県外で生まれ福島に帰還・移住してきた人もいます。そして、将来、福島を支えていく人もいれば、世界で活躍する人もいます。

今、福島県には、熱い思いを持ち、様々な分野で創意工夫をこらして活躍する素晴らしい大人がたくさんいます。そのような地域の方々と交流しながら学ぶ機会を充実していきたいと思っています。そのような経験は、皆さんが将来どんな場所で活躍するとしても、得難い財産になるはずですよ。福島県で学んだ経験が皆さんの誇りとなるような、そんな教育を実現していきたいと思っています。

また、日々の生活の中では様々な悩みや課題もあると思います。私たちは、皆さんの可能性を信じ、個性を大切にしながら、誰一人取り残さない、一人一人が主役となる教育を実現していきたいと思っています。

計画策定の過程では、皆さんから、日々感じる課題や願いを聞かせていただきました。今後も皆さんとの対話を大切にしながら、より良い教育を目指します。

(保護者、地域の皆様へ)

「福島ならではの教育」は、福島の地域の良いところをいかす教育です。子どもたちが福島を誇りに思えるような地域に根ざした教育を実現していきたいと思っています。

教育は未来を切り拓く最重要施策です。大人として自立し、社会の課題に主体的に向き合う力を子どもたちにしっかりと育むことが、子どもたちの豊かな人生、将来の豊かな福島をつくることにつながります。そのためには、学校の力だけでなく、地域の力、家庭の力が不可欠です。今後とも、子どもたちの教育のために御協力をお願いいたします。

(教職員を始めとした教育関係者の皆様へ)

本計画の策定に当たっては、本県教育の強みをいかしながら、課題を克服することを目指して検討を進めてきました。「福島ならではの教育」は、SDGs等のグローバルな視点をいかしつつ福島の地域課題そのものをテーマとする探究活動等、これまでの取組を明文化し、本県の強みとして更に充実しようとするものです。地域との連携や探究学習を指標に入れたのもそのためです。一方で、算数・数学、英語等の学力を始めとした課題はしっかりと克服していく必要があります。

学力課題の解決に向けては、今はハードルが高いと感じる目標値もあるかもしれませんが、基礎的な学力は、子どもたちが自立し、変化の激しい社会の中で主体的に課題を解決していくための源泉です。9年間で着実に課題を克服していきたいと思っています。

そのためにも、教職員の皆さんが意欲的に、創造的に、やりがいを持って働くことができる環境整備は不可欠です。「学びの変革」と「学校の在り方の変革」は両輪として進めます。

本計画の柱となる方針や施策と具体的な各年度の取組は、今後、「学びの変革推進プラン(仮称)」を策定し、皆様にお示ししていく予定です。

(結びに)

本計画は、県民の皆様との対話と協働を大切にしながら策定してきました。今後9年間の計画の実施に当たっても、教職員や保護者の皆様、そして地域の方々との対話と協働を大切にしながら、皆様と思いを共有し、子どもたちが安心して心を動かしながら学ぶことができる福島ならではの教育を実現していきたいと考えています。

令和3年12月  
福島県教育委員会教育長 鈴木 淳一